

内科(4) 糖尿病・内分泌代謝内科

診療科の特色

健康寿命を伸ばすための 「フロントランナー」になりませんか？

手術など目立ったことはないけれど、我々の存在なしでは現在の医療は成り立たない。
医療の最上流で多くの患者とともに内科医として活躍しませんか？

信州大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌代謝内科で一緒に働きましょう！！

当科の専門分野は糖尿病、内分泌代謝、老年医学です。これらの分野の疾患の特徴は、「全身にわたる疾患であること」です。したがって、当科の専門分野のみならず、内科一般の様々な疾患や病態に対処できるようになることが重要です。信州大学内科専門医研修プログラムに入っていたくことで内科全般を学び、さらに、糖尿病・内分泌代謝学の専門的な知識・技能も当科でしっかり学ぶことができます。

<専門科として主に扱う疾患>

糖尿病・代謝疾患：糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症、肥満症、メタボリックシンドロームなど
内分泌疾患：甲状腺、副甲状腺、間脳下垂体、副腎、性腺、膵内分泌腫瘍、遺伝性内分泌腫瘍 など
老年医学：骨粗しょう症、老年症候群、加齢医学 など

専門研修の魅力

糖尿病も内分泌代謝疾患も全身に影響の現れる疾患であり、これらの診療を適切に行うには一つの臓器のみを診ていてはできません。必然的に、総合的な力を持ち全身を診ることのできる内科医になることが要求されます。総合的な幅の広い診療を行える力量を目指す場合に、自分のプラットフォームが「糖尿病・内分泌代謝」であることは大きな強みになります。

当科は日本内科学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本老年医学会、日本肥満学会などの認定教育施設であり各学会の認定医、専門医、指導医の資格を取得することは勿論、大学院での研究活動を通じて学位取得を目指し、糖尿病、内分泌代謝疾患の病態解明や新しい治療法の開発に貢献することが可能です。また、海外留学や国内留学も積極的に支援しており、さらなるキャリアアップを目指すことも可能です。

是非、直接見学にいらして下さい！！

信州大学内科専門医研修期間

専攻医一年目：始めの3～6ヶ月間は糖尿病・内分泌代謝内科で研修していただきます。

その後は「信大基本コース」にのっとって、当科以外の内科を3ヶ月ごとにローテーションしていただき、幅広く内科領域を学びます。

専攻医二年目：信州大学専門医研修プログラムの連携施設の病院で1年間研修します。（下記）

専攻医三年目：基本的には糖尿病・内分泌代謝内科で1年間研修します。（専攻医の希望を積極的に取り入れます）大学院に入学することもできます。

プログラム構成病院

専攻医二年目は、基本的には連携施設の病院で1年間研修を行います。

下記の研修病院において、当科出身の常勤の医師が指導を行います。糖尿病専門研修指定病院です。

研修病院（2017年度）：[長野赤十字病院](#)

[相澤病院](#)

[長野市民病院](#)

[篠ノ井総合病院](#)

* 大学病院に勤務している期間においては、当科の関連病院（下記）で、糖尿病・内分泌代謝内科の外来を週に1～2日担当します。（2016年度）

関連病院

相澤病院、長野赤十字病院、篠ノ井総合病院、小諸厚生総合病院、国保浅間総合病院、岡谷市民病院、松本市立病院、丸の内病院、富士見高原病院、長野中央病院、諏訪赤十字病院、市立大町総合病院、まつもと医療センター松本病院、昭和伊南総合病院、北信総合病院、県立木曽病院、東御市民病院、千曲中央病院、信州上田医療センター、長野県立こども病院、一ノ瀬脳神経外科病院、甲府共立病院、伊那中央病院、飯田市立病院、県立須坂病院 など

実際の研修概要

1年目

2年目 初期研修終了

3年目 入局、[信州大学内科専門医研修プログラム（信大基本コース）専攻医1年目](#)

4年目 信州大学内科専門医研修プログラム 専攻医2年目

[糖尿病・内分泌代謝内科専門医研修開始](#)

5年目 信州大学内科専門医研修プログラム 専攻医3年目 内科専門医試験→[内科専門医資格取得](#)

[糖尿病・内分泌代謝内科専門医研修2年目](#) [大学院に入学（希望者）](#)

6年目 [糖尿病・内分泌代謝内科専門医研修3年目](#)

[大学院2年目](#)

7年目 [糖尿病内科専門医、内分泌代謝科専門医取得](#)

[大学院3年目](#)

8年目 [大学院4年目 →学位取得](#)

9年目以降 専門性を生かした、国内海外留学・診療・大学での研究、一般病院への勤務、など
一人一人の個性や希望に合わせて活躍の場を広げる。

注：6年目以降は、大学だけでなく、大学外の当科の関連病院である糖尿病専門研修指定病院に勤務して専門医取得を目指します。

取得できる専門医、資格など

内科専門医（内科専門医研修プログラム3年目で取得）

入局後、まずは幅広く内科全般を学ぶために内科専門医研修プログラムに入ります。（詳細は他ページ参照）

糖尿病専門医（7年目以降）

急増している糖尿病に対する治療の中核を担うべきわめて将来性の高い資格です。当科では責任を持ってその取得をサポートします。将来開業などの独立を考えた場合、糖尿病を中心とした生活習慣病を専門としていることは様々な面で有利となります。

内分泌代謝科専門医（7年目以降）

肥満症専門医（7年目以降）

甲状腺専門医（8年目以降）

疾患の種類が多く、専門的な技能が求められるにもかかわらず専門家が少ないため、需要の多い分野です。診断までのプロセスが理論的であり、専門家としての力量を十分に発揮できます。

老年病専門医（7年目以降）

高齢化社会を迎え、将来性のある資格で、あらたな将来の医療の姿がみえてきます。

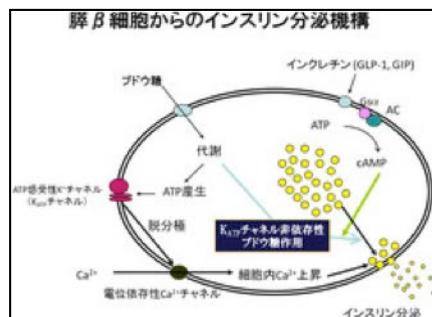
学位（医学博士）（8年目以降）

医学研究者として活躍する第一歩になるだけでなく、基礎研究、臨床研究をすることによって得られる、論理的思考力やデータの解釈力は、臨床医として活躍する上でも、多くの情報に振り回されず、病態をしっかり見据える能力を高めることにつながります。

大学院での研究テーマ、臨床研究のテーマなど

当教室は伝統的に基礎研究に力を入れています。実験室の設備や環境も充実しています。

- ・インスリン分泌機構の研究
- ・自己免疫疾患とエストロゲンの関係性
- ・甲状腺受容体と糖代謝の関係
- ・甲状腺結合蛋白(CRYM)と糖脂質代謝の関係
- ・非侵襲血糖測定機器の臨床応用(セイコーエプソンとの共同研究)
- ・SAP(インスリンポンプに持続血糖測定機を兼ね備えた最新機器)を用いた血糖調節
- ・人工臍を用いた糖代謝の解析など



人工臍臍



国内留学・海外留学

海外留学、国内留学とも可能です。 とくに、海外留学は希望があれば4年間程度は可能です。

最近の留学先(海外、国内)

シカゴ大学(米国)	マサチューセッツ総合病院(米国)
コーネル大学(米国)	リヨン大学(フランス)
テキサス大学(米国)	ルーヴアンカトリック大学(ベルギー)
アイオワ大学(米国)	大分大学医学部 薬理学講座(国内)
	群馬大学 生体調節研究所(国内)

将来の就職先など

当科の専門分野は幅広いニーズがあり、大学での教職、勤務医、開業すべてにおいて活躍ができます。

また、育児・主婦をされている**女性医師**については、可能な勤務形態を考慮し診療を行っていただくことが可能です。女性医師の**職場復帰**についても、積極的に支援いたします。(2016年度現在、女性医師は常勤5名(助教3名、医員1名)、非常勤3名と他内科と比較しても女性医師の割合が多いのが当科の特徴です。女性が働きやすい医局です。)



連絡先

信州大学医学部 内科学第四教室(糖尿病・内分泌代謝内科) 教授:駒津 光久

■住所:〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 ■電話: 0263-37-2686 ■FAX: 0263-37-2710

■E-mail : mitsuk@shinshu-u.ac.jp

■U R L:<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/department/doctor/grdkarei/i-karei/>

■専門研修プログラムの詳細は、信州大学医学部附属病院HP 卒後臨床研修センター → 専門研修 [内科]